



家庭数配布

第3号 令和5年6月15日

学校だより わかば

千葉市立千城台わかば小学校  
児童数 405名  
Tel 237-1004

学校教育目標 心豊かで 個性が輝く 子どもの育成

## 子どもたちを『良き社会人』に

校長 中村 英明

梅雨空らしく雨の降りやすい天気の日が続いています。気温だけでなく、湿度も高い環境においては、熱中症のリスクが高まります。また、暑さ慣れしていない身体では、汗をかくことによる体温調節の機能を十分にはたらかせることも難しいと思われます。学校では、WBGT（暑さ指数）測定器を校内の数か所に設置してリスク管理を行っています。各教室ではエアコンを活用したり、こまめな水分補給（冷水器も使用可となっています）や個人の判断を尊重しながらもマスクの取り外しを促したりすることで子どもたちの健康を守っていきます。（なお、WBGTが『31以上＝運動は原則中止』となった場合には、水泳指導も実施不可となります）また、暑さへの対応力には個人差がありますので、ご家庭でも、暑さに備えた服装の選択・水分補給のための水筒持参・直射日光を避けるための帽子着用等の対策を講じていただければと思います。

さて、先日、かつて小学校の校長職を務めていた或る方の「学校だより」での巻頭言を目にしましたので、一部を抜粋してご紹介いたします。

### メンテナンス

調理器具や衣料品などの家庭用品や機械類を快適に使うためには、メンテナンス（手入れ）が必要なことはよく知られています。何をしてもメンテナンスが伴わなければ、物事は正常に機能しないものです。

例えば、車を買っても、電気製品を買っても、それを正常で良好な状態で使うためには、定期的に補修を行い、燃料やエネルギーの補給が必要になります。

メンテナンスが必要なのは「物」だけに限りません。私達は毎日の生活の中で「何かを手に入れたい」とか「これができたら良いな」と思うことがありますが、手に入れた後に発生するメンテナンスの労力や費用を計画しなければ、途中で挫折してしまいます。

このことは、子育てにも当てはまります。

子どもの成長や能力に応じて、接し方や指導法を変化させ、学用品や衣類など必要な品物を買って与えていくといったメンテナンスが必要になります。子育てでは「家族の人間関係、健康管理、食事、家庭学習」など、どのメンテナンスが欠けても健全な成長は望みません。

学校は子どもたちに様々な教育機会を提供し、年齢や能力に応じた指導を行い、将来『良き社会人』となるために必要な基本的な知識や生活習慣を指導しています。これも健全な子どもを育成するために必要なメンテナンスだと考えています。

私たち大人は、子どもに接していく様々な場面で「こんな時にはこうすると良い」とか「こういうことは、やってはいけない」などと注意をします。でも、次に同じような場面になった時、その子どもがこちら（大人）の期待するような行動をとるとは限らないものです。子どもに『良き社会人』として健全に成長してもらうためには、大人として、**定期的に・繰り返して・粘り強く・発達段階に合わせて・適切な注意や声掛けをしていくことが必要**であると考えます。そのためには、私たち大人自身が『良き社会人』としてふるまうように心がけていくことが大切であると言えるでしょう。